

人の歴史は、海が憶えている

日本財団助成事業

第2回「水中文化遺産と考古学」シンポジウム

# 海の道

## その遺産と考古学

特別講演

「海を渡った陶磁器—中国磁器と肥前磁器の流通—」

大橋 康二先生 (佐賀県立九州陶磁文化館 前館長 現特別学芸顧問)

「玄海の漂着物—漂着物あれこれ—」

石井 忠先生 (古賀市立歴史資料館館長、漂着物学会会長)

調査研究  
報告

「岡垣浜採集品からみる波佐見焼の流通」

中野 雄二 (波佐見町教育委員会 学芸員)・添田 征止・佐々木 達夫・野上 建紀

「鹿児島県坊津海底調査報告」

林原 利明 (アジア水中考古学研究所 理事)

期日：2009年3月29日(日)

時間：13:00～16:00 (12:30から受付)

場所：福岡市博物館講堂

(福岡市早良区百道浜3丁目1-1 TEL.092-845-5011)

参加費：無料 [資料代:希望者には500円で頒布します]

■主催：アジア水中考古学研究所 ■助成：日本財団 ■後援：九州近世陶磁学会、福岡市(申請中)、福岡市教育委員会(申請中)、有田町教育委員会(申請中)、波佐見町教育委員会(申請中)  
このシンポジウムは日本財団の助成を受けて実施されます。

